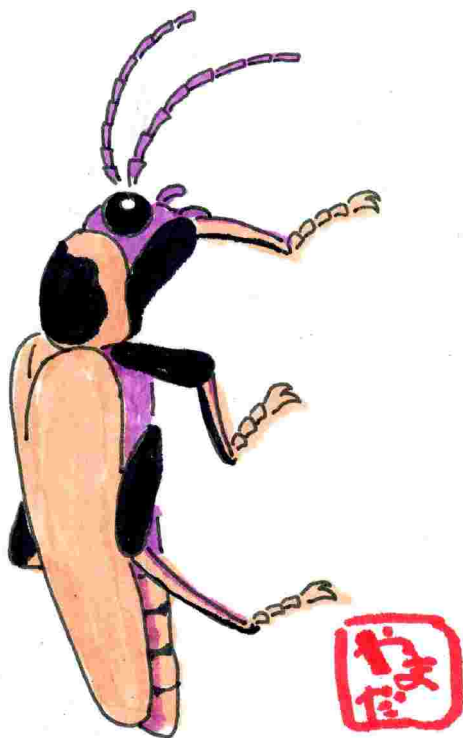




私が子どもだった頃 さんぞう 三艘町内会 小泉 元久

私は、昭和2年に侍従川の近くで生まれました。家は、侍従橋から50メートルほど川下の侍従川に面したところにあります。以前、しらうめほいくえん 白梅保育園をやっていたので、そちらをご存知の方が多いかと思います。私が小学生の頃は、まはたけ 白梅公園を取り巻くように畑があり、六浦の交番より南側は一面の田んぼで、その中を京浜急行がずし 逗子に向かって走っていました。また、六浦駅はなく、郵便局のあたりに1軒だけ家があったのを覚えています。

むかし 昔は、ぎむきょういく 義務教育が小学校まででしたので、近所の子どもたちが集まって遊べるのは、小学校の6年間でした。私たちがよく遊んだところは高橋から下流で、えんせい 大道まで遠征していくことはありませんでした。私の家より少し下流の所でさんぞう 三艘橋の方から流れる三艘川と侍従川が合流していますが、川遊びの中心は、この三艘川でした。三艘川は流れがおだ 穏やかで、上流に家が少なかったため水がきれいで魚がほうふ 豊富でした。小学2、3年になると川に入って友だちとフナやハヤを追いかけて遊びました。



ジウカイボン(ジウカイボン科)

学名: *Athemus suturellus*

分布: 北海道、本州、四国、九州

体長: 14 ~ 18 mm

成虫は4月頃から現れ、花や葉の上に止まっているのを見かける。花粉や蜜の他、小さな昆虫を食べる。漢字では“浄海坊”と書くが由来はわかっていない。触覚が長い姿はカミキリムシに似ているが、分類上はホタルに近い。

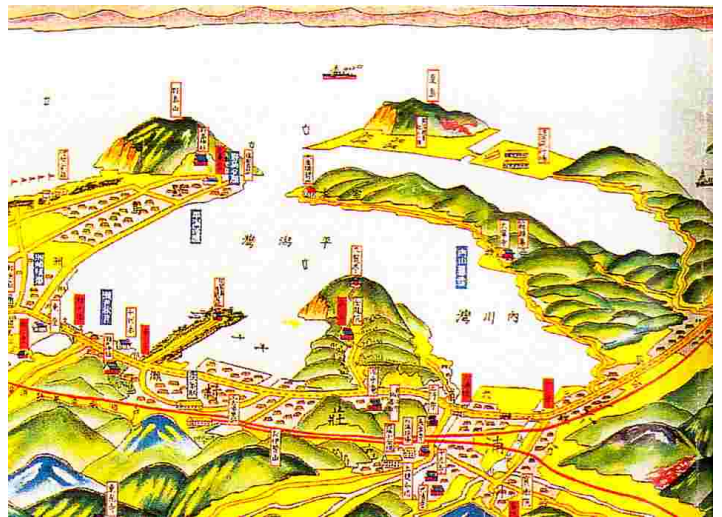
解説: 熊井 健

大道の子どもたちは、侍従川の上流でカイボリをしてウナギを捕ったと侍従会の会報に書いてありましたが、私は、その様な経験はありませんでした。季節の良いときには家から川に下りてゴカイやイソメを掘り起こして釣り餌の準備をして、侍従川で釣りをしました。獲物はなんと言ってもハゼで、そのハゼを、その後、自分でどうしたという記憶がありませんので、ただ釣れたときの感覚がおもしろくてやっていたのだと思います。9月のお彼岸の前に捕ったハゼは干してもカビが生えると言われていました。彼岸が過ぎてからのハゼは形が良く、大きいものは祖母が手を尽くして乾燥して保存し、正月の昆布巻きにしてくれました。

また、家にボートがありましたので、満ち潮のとき兄と平潟湾の方に出かけて釣りをしたこともあります。その頃の地形は今とはずいぶん違ったものでした。柳町のあたりは海で、野島は平潟町と地続きになっていました。野島橋や夕照橋はありませんでした。瀬ヶ崎の先端の室の木と野島の間は渡し舟がありました。平潟湾には研究用として牡蠣棚があって、そこに魚がよりつくと言うのでボートでよく釣りに行きました。しかし、釣り糸が牡蠣の貝殻に絡みついたり切られたりして困ったことがありました。

釣りをしていると、ウナギの子どもメリュウという稚魚が時々かかりましたが、糸に絡まって外すのが大変でした。また、頭に角があってぬるぬるするネズップと言っていたメゴチや餌をつついて食べてしまうフグは私たち子どもにとってはどうしようもない獲物でした。メゴチが、てんぷら屋さんの良い材料になるということは、ずいぶん後になって知りました。

当時、子ども心に不思議に思っていたことはボラの子のイナのことです。イナは上げ潮のとき今でも群れをなして侍従川に上がってきますがそのイナを釣ったり獲ったりしている場面を見たことも聞いたこともありませんでした。逃げ足の速い魚であったこと、食べても美味しくないということで、魚としてあまり評価されていなかったのかもしれない。



ハゼで昆布巻きを作ってくれた明治3年(1870)生まれの祖母の話によりますと、金沢・六浦は、お嫁に来た頃は三方山に囲まれていたということでした。横浜、横須賀、逗子、鎌倉のどの方面に行くのにも山道で、六浦は陸の孤島のような場所でした。しかし、それゆえ風光明媚な風景が残る静かな村だったようです。鎌倉時代に開通した朝比奈峠を通して鎌倉に出る道が唯一の道らしい道でした。陸路はそのような状況でしたが波静かな平潟湾がありましたので、船による交通は発達していたようです。今から100年も前の話ですが、祖母は富岡から舟に乗って六浦に着き、侍従川を上って嫁入りしたと聞いています。現在の人にはとても想

像が出来ないことでしょう。

その頃は、小学校も少なく、私の同級生の中には室の木や瀬ヶ崎から歩いて六浦小学校に通っていた生徒もいました。小学校の1、2年生にとって、これだけ長い距離を徒歩で通学することは、雨の日などは大変だっただろうと思います。時代を重ねるに従って、六浦の景色や私たちの生活は、ずいぶん変わりましたが、子どもたちの旺盛な好奇心に変わりはないと思います。平成の子どもたちも、侍従川で思う存分遊んで色々な体験をしてもらいたいと思います。

侍従川流域 生き物発見記録

アオダイショウ...4/11 朝比奈町 山田特派員

ニホントカゲ & ニホンカナヘビ...4/11 常林寺裏谷戸(朝比奈町) 米塚特派員

ヨウジウオ...4/18 関東学院カヌー部漕艇場(侍従川河口) 徳竹特派員

チチブ卵塊...4/25 侍従川中流 白石特派員、角井特派員

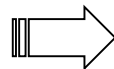
ツバメ...4/29 高舟台(上村宅) 上村特派員

シマヘビ...5/5 侍従川源流(朝比奈町) 金子特派員

アサヒナカワトンボ3匹...5/5 侍従川源流

(朝比奈町)金子特派員

ダビドサナエ1 ...5/5 侍従川源流



(朝比奈町)金子特派員

ハンミョウ...5/5 侍従川源流(朝比奈町)

金子特派員

ウナギ...5/13 侍従川中流 山田特派員

ゲンジボタル1 ...5/22 大道県営住宅跡地(侍従川中流) 上村特派員・徳竹特派員



員

〈特派員募集!〉侍従川流域の生き物発見情報求む! 初見や初鳴きなどの情報、貴重な生き物の情報をお寄せください。

侍従川らくらく連絡網に登録してある方 [ji juugawa@ra9.jp](mailto:jijuugawa@ra9.jp) 侍従川らくらく連絡網へ

第16回金澤水の日

【活動報告その1】

3月14日(日) 9:00~15:00

於:野島公園

記)竹内秀弥

3月14日、第16回金澤水の日が開催。今回も実行委員長です。例年より半年遅れでの開催です。侍従会は何時ものように生き物展示、中学生がスタッフとして参加してくれました、ありがとう。参加団体も徐々に減り活気に欠けたものになってしまいました。次回は…

3月クリーンアップ

【活動報告その2】

3月28日(日) 9:00~11:00

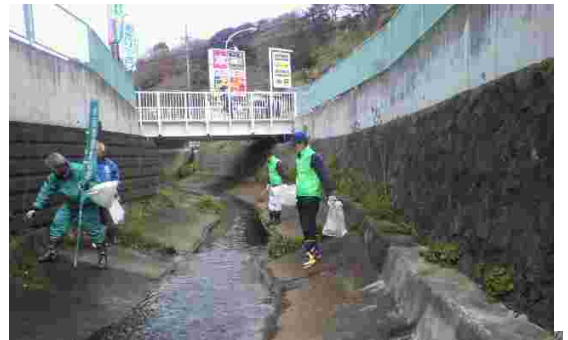
於:大道東橋~三信住宅入り口、長島橋~明戸橋 記)細川一雄

参加者:相川澄夫、長野政治、角田繁、西澤博厚、八木場紀元、外川忠志、高橋のりみ、廣瀬隆夫、河本充雄、山田陽治、島村まい、金野光流、鈴木政俊、金子英司、中島勇歩、細川一雄(計16名)

今回は子供たちが数多く参加してくれました。

子供たちには大道東橋から上流に向けてゴミ拾いを任せ、途中長島橋付近に残っていた枯れた水草を同行の大人たちが刈り取りました。また、他のメンバーは上流に向かい地蔵橋から川に降りて、三信住宅入り口まで遡りそこから下流に向けゴミ拾いを行いました。途中、加倉橋付近に残っていた枯れた水草の刈り取り作業を行いました。

今回は、一箇所に同じ種類のタバコの吸い殻が多く捨てられていました。多分、車の灰皿のゴミを川にそのまま捨てたか、携帯灰皿の中身を捨てたものと思われます。また、乾電池が多数入ったビニール袋を回収しました。これも通りがかりに捨てたのではなく意識的に捨てたものと思われます。



第25回よこはまの水辺と緑を考える子ども会議

【活動報告その3】

3月28日(日)於:金沢自然公園(金沢動物園)ののほな館 記)山田陽治

参加者:尾池、上村、徳竹、白石(ま)、白石(た)、柴田(は)、柴田(ぎ)、柴田(り)、角井、米塚、中島、鈴木(ま)、金子、成島、佐野、山田、竹内、金野

新羽中自然科学部・駒岡小OB・ふるさと侍従川に親しむ会で結成された子ども会議実行委員会を、12/30(新羽中)、1/11(東京ガス環境エネルギー館)、2/11(金沢動物園)、3/22(金沢動物園)と回を重ねて実施し、当日3/28を迎える。

副実行委員長には侍従会 金野光流(六浦中2年)が選ばれた。

子ども会議参加団体:新羽中自然科学部、二つ池プロジェクト、よこはまかわを考える会、横浜にとんぼを育てる会、SSC、玉川大学、東海大学、ふるさと侍従川に親しむ会

内容は、午前...各団体によるワークショップ

午後...外来種を考えるクイズラリー

各団体による活動&フィールド紹介

ミニ討論会



トピックス

4 / 1 ~ パタゴニア・ベイサイド・アウトレット店内にて、侍従川の写真展示

5 / 5(祝) パタゴニア・ベイサイド・アウトレット店頭にて侍従川の生き物&ミニチュア葦船展示と投網体験コーナー(島村・山田(陽)が対応)

5 / 11(火) パタゴニア・ベイサイド・アウトレットで店員に侍従川森~海をレクチャー(山田(陽)が対応)

5 / 13(木) 大道小学校「侍従川クリーン大作戦」に協力(長野副会長、山田(陽)が対応) 5/12 雨天のため5/13に行われました。

5 / 22(土) パタゴニア・アースデイイベント「森・川・海をつなぐ~侍従川・水をめぐる旅」主催 パタゴニア・ベイサイド・アウトレット

ガイド...木村尚氏(NPO 海辺つくり研究会)・山田(陽)

5 / 23(日) 定例クリーンアップが雨天のため延期。

春を味わおう

【活動報告その4】

～ 春の草摘みと野草料理パーティー～

4月11日(日) 9:00～16:00

記)前原詩乃

桜が咲き始めながらも、肌寒い日が続いた4月でしたが、この日は温かく、気持ちよく空の下で過ごすことができました。今回は侍従会の会員以外にも、寺尾さん率いるボーイスカウトのビーバー隊の参加もあり、なが～い行列を作って、いざ朝比奈の里地へ！

最初のポイントではトトキ(ツリガネニンジン)、タンポポの花、よもぎをみんなで手分けして摘みました。山田さんのレクチャーでは、摘む草以外にも、スッパイ葉っぱや毒草も教えてもらいました。ウラシマソウ、毒があるけど、髭の生えた黒い風貌が、かっこ良い！

移動中に蛇が出てきて写真撮影会に！ユリちゃんの首飾りと化した蛇の鱗をなでたり、首に巻いたり、みんなに大人気。階段の崩れた傾斜をむりやり登り、冒険しながら次のポイントへ。ここではセリとノビルとユキノシタを摘みました。セリと形の似た毒草があり、山田さんのレクチャーや周りのお母さん方に聞きながら安全そうな草を摘みました。

さらに移動して、大道中学校へ。湧水が流れ自然に恵まれた学校。セリとクレソンにタラの芽を収穫。初めて見るアケビの花は透ける紫色で、とてもかわいらしかった。途中で生えていた笹の葉も、お茶にして美味しく頂きました。

この日の収穫は、サラダ、ペペロンチーノ、餃子、キムチ、酢味噌和え、チヂミ、天ぷら、きんつば、団子、笹茶と、美味しい料理に変身。ユキノシタのてんぷらは肉厚でナスの味そのもの、セリキムチは少し癖のあるおいしさ。

野草料理を楽しみながらも、仲良くなったアリちゃんとゆかポンと川遊び。石をひっくり返すと裏に卵がたくさん産みつけられていて、しかも一粒一粒にちゃんと目が付いている！川で石を投げあいっこや、魚とり。久しぶりに会う子どもたちの姿に成長を感じ、桜の舞う中、侍従川の春を満喫した一日でした。

家が遠いため少しずつですが、侍従会の活動にまた参加させていただきますので、これからもよろしく願います！



野草パーティーの感想

野草パーティーは楽しかったです。川に入ったり、いつもは食べられないノビルの天ぶらが食べられました!!とてもうれしかったです。(白石守)

普段、踏んでしまっているかもしれない野草も食べられる草だったり、害がある草でした！普段の料理に使われていないのが不思議に思いました。(白石匠)

餃子をはじめて作った。わりとうまくいった。新しい友達ができた。楽しかった。(尾池実)

とても楽しかったです！去年より美味しく野草が食べられてスゴく嬉しかったです！(米塚友里)

へび(あおだいしょう)にさわったことがすごかったです。

のんちゃんというお姉さんとユカタンと一緒に川で遊んだことが楽しかったです。それから、よもぎであんこを巻いたクレープがとってもおいしかったです。(ドロレ亜利風)



ドロレ^{アリ}風^ゼ

「ボーイスカウト横浜第24団ビーバー隊」

ヤエムグラが、ふくにペタンとくっついた事がたのしかった。アオダイショウを触ったらザラザラしていてかわいかった。(どいはるき)

りょうりがおいしかったたのしかったしおもしろかった。(いえじまひなた)

初めて野草を探したけど、教えてもらえたから、簡単に見つけることが出来たから楽しかったです。テレビに出てる先生に教えてもらえて、家に帰ったらテレビに先生が出てびっくりしました。野草の中ではノビルが一番好きです。(かもんぜきあいり)

よもぎをつんでいたらたのしくてがけからおちたんだ。すごくびっくりしたよ。それからつんだ草をおりょうりしてたべたよ。はじめは草を食べるのはいやだったんだけど、ママに「たべてごらん」といわれふきの天ぶらをたべたらおいしくてびっくりしたよ。それから10こくらいたべたんだ。すごくおいしかったよ！(かとうかい)

楽しかった～いつも、おばあちゃんに道に咲く葉っぱを何でも構わず食べちゃいけないって言われてたけどあれ本当なんだね！公園で咲いているちっちゃな可愛い花がね～“毒”なんだよ“毒”！もう、クローバーとか何でも口に入れられないよ！おばあちゃん

(ひろかわけんと)

毒草と食べられる草を見分けるのが難しかった。(かんばらこういち)



葦船乗船会

【活動報告その5】

4月18日(日) 9:00~14:00

於: 関東学院漕艇場

記) 松木綾花

4月18日(日)晴天に恵まれ、眩しい太陽のもと葦船乗船会が行われました。「冬にみんなでつくった葦船にやっと乗れる！」みんなわくわくドキドキした気持ちで乗船会場にむかいました。侍従川に沿って歩いていくと、水中をうごめくボラや、すいすい泳ぐカモが目を楽しませてくれました。

関東学院前、川幅も広がったとことで、「あっ！」一人の子どもが歓声をあげました。指さす方向を見ると、葦船が浮かんでいるではありませんか。「すご~い！あんな大きくても沈まないんだ！」「早く乗りた~い！」一気にみんなのテンションが上がりました。

葦船乗船会の参加者は、のべ100人以上。初めて参加した人、毎年参加している人さまざまでしたが、みんなさんライフジャケットの着方が上手で驚きました。力を合わせてつくった葦船、その葦船にはじめの一步を踏み入れるとき、みんなきらきらした表情をしていました。

オールを持って「お~い、右を漕げ~」と掛け声をかけ、息を合わせた葦船の旅。乗り終えた人に感想を聞くと、「楽しかった！もう一回乗りたい！」と笑顔で話す人がたくさんいました。

自分で作った葦船で侍従川の船下り、最高ですね。ご協力ありがとうございました。



拡大クリーンアップ

【活動報告その6】

4月25日(日) 9:00~11:00

於: 汐見橋~朝比奈橋上流

記) 細川一雄

参加者: 38名

久しぶりの晴天に恵まれた当日朝9時に事務局メンバーが、大道小学校に集合し準備開始。

9時30分から開会式。相川会長、小泉校長先生の挨拶に続き事務局員細川から注意事項の説明、続いて、1~3班の各班長と副班長を紹介し同時に参加者を3班に分割し清掃場所へ移動。各班の割当ては以下のとおり。

1班: 汐見橋~大道東橋(班長: 長橋、副班長: 村田)

2班: 大道東橋~大道橋(班長: 山田、副班長: 廣瀬)

3班: 大道橋~朝比奈橋(班長: 寺尾、副班長: 角田)

写真係: 西澤、回収物搬送: 外川、後方支援: 八木場、細川

10時に各班が現地に到着し清掃作業開始。



< 下流域の清掃風景 >



< 中流域の清掃風景 >



約1時間の作業の後、11時過ぎに各班共ゴミ拾いを終了し、千歳園に順次集合。今回は作業範囲が広がったせいもあって毎月の清掃作業の3倍強の21袋分のゴミが回収されました。

また、直径7cmほどの長い鉄パイプや、大きなライトとスタンドなど業務用で使用される様な大きなゴミが数多く回収されました。

< 集められたゴミ類:約21袋分回収 >

工事用の鉄パイプ、照明用ライトとスタンド、傘、パイプ椅子など

11時20分から県営住宅跡地の緑地に移動し、閉会式を開催。

長野副会長から参加者に川が非常にきれいになったとお礼の言葉で閉会式終了。続いて回収したゴミを囲み参加者全員で記念写真を撮って解散しました。

< 下流域の清掃風景 >



かながわ湊フェスタ

【活動報告その7】

4月29日(祝) 10:00~16:00

於:神奈川水再生センター

記)米塚友里(中2)

参加者:竹内、河本(充)、河本(裕)、島村、米塚

展示した生き物

シマヘビ...3匹、アオダイショウ...3匹

クサガメ...大中小それぞれ一匹ずつ

やったこと...タッチスネーク、タッチガメ

お客さんの反応

やはり蛇が展示品ということで、好きな人と大嫌いな人に別れていた。半径3m以上常に離れている人から蛇を一度触って気に入ってしまいお店の前で蛇の休憩時間が終わるまで待っている方まで。クサガメの方も三匹を小さい順に上へ積み重ねて「カメの塔だ!」などと言っている人もいた。



潮干狩り&海の生き物観察会 in 野島

【活動報告その8】

5月15日(土) 9:00~14:00

記)長崎光則(小4)

野島の砂浜で海の生物観察(潮干狩り)をしました。カガミガイ、アサリ、カニを採りました。アサリは、色々な模様があって面白いです。例えば富士山やピラミッドや五重の塔のように見えます。面白かったです。



長崎光則

フレンドまつり

【活動報告その9】

5月22日(土) 9:00 ~ 於:大道小学校

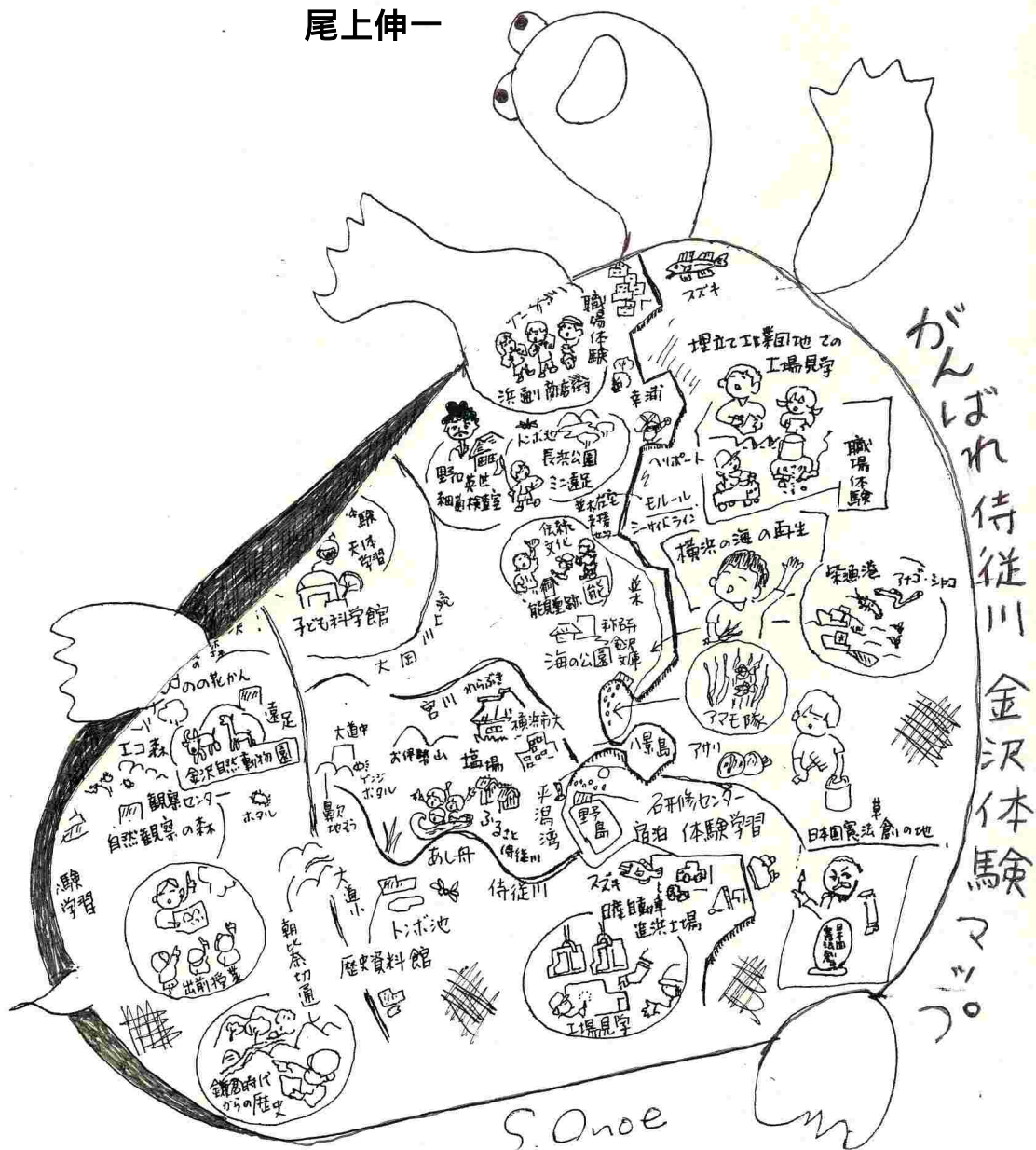
記)竹内秀弥

5月22日大道小学校に於いて開催されました。侍従会はトンボ池でザリガニ釣りをやりました。準備で竹竿40本を廣瀬さんとつくりました。ところが足りません！お客さんが途切れません、竿待ちの行列が出来ています。ザリガニは？ 学校でとっているので釣れません。延べ100人程で10匹。釣果は残念でしたが皆楽しく過ごせました。



がんばれ侍従川・・・金沢体験マップ

尾上伸一



侍従川生き物図鑑 No.8

～ ハグロトンボ ～

学名: *Calopteryx atrata*

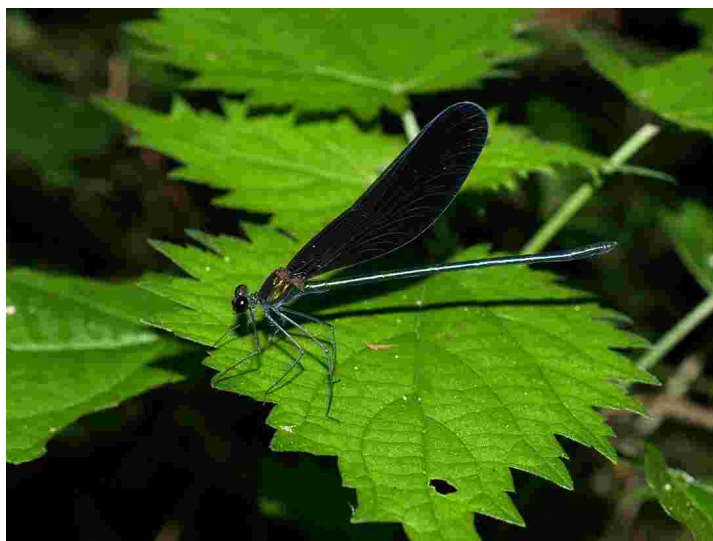
体長: 60ミリ

分布: 中流域

かつては減少傾向にありましたが、会の方達の熱心な葦植えによる環境改善で数年前から流域で普通に見られるようになったトンボです。

名前のとおり翅が真っ黒なのが特徴

で、初夏から盛夏にかけて中流域の土手をひらひらと飛んでいる姿が観察できます。幼虫は流れのゆるやかな場所の水草の中において、体は細長く、お尻に三本のエラがついています。



琉球生き物紀行 ～ 美ら島の生き物たち～

～ オオサワガニ ～

学名: *Geothelphusa grandiovata*

甲幅: 40～50ミリ

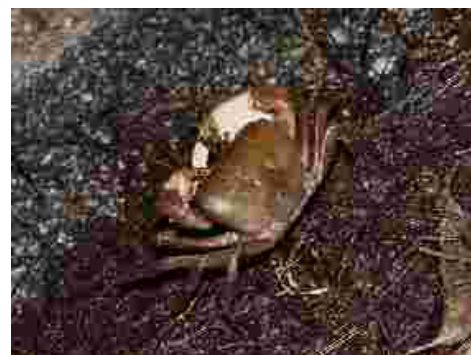
分布: 沖縄島

沖縄には様々な種類のサワガニ科のカニが生息しており、その中でも最も大きいのがこのオオサワガニです。なんとハサミの大きさがよ

く知られている本土のサワガニ1匹分に相当します。珍しい種類で絶滅危惧種に指定されています。僕は4年目にしてやっと国頭村の林道で立派な雄に遭遇することができました。大きさや格好のよく似たオカガニ(オカガニ科)と見間違われることがありますが、オオサワガニの体は黄色味をおびているのと、前者が海岸付近に生息

しているのに対し、後者は生息地が山奥の湿地ということで区別できます。

沖縄本島の北東に浮かぶ伊平屋島にもオオサワガニが生息していますが、2006年にイヘヤオオサワガニとして本島のものと別種にしたそうです。



監修)熊井 健

朝夷奈の森通信 ~ 風の忍者より ~

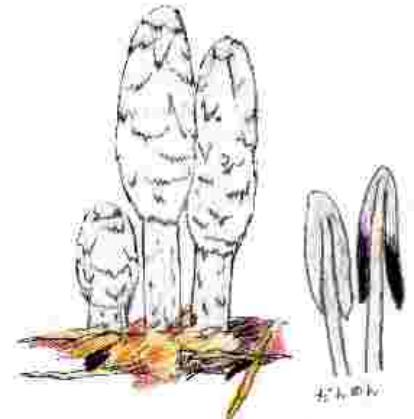
飯村優介

谷戸にゲンジボタルが舞い、カワトンボの美しい羽色、雑木林もにぎやかになり、初夏の訪れと梅雨で湿り気も増してくる頃、里も森もキノコたちが元気になります。種類、数共に大きなヤマの季節です。

ササクレヒトヨタケ

ヒトヨタケ科の食用キノコ、人に身近な公園、田畑のあぜ、土手、枯れ草だめ等に発生する。成長するとひだが孢子と共に黒くとけ、インクのようになり、しまいに柄だけになる。

長さ10cm~25cm、傘が開く前の棒状のものを料理に使う。和風、洋風いずれの料理にもよく合う。まるやかな良い食味のキノコである。



ササクレヒトヨタケ (食)

タマゴタケ

テングタケ科の食用キノコ。白い卵状のつぼから真っ赤な傘が現れ、開けば6~18cm、長さは10~20cmに伸びる。柄はオレンジ色のだんだら模様、だいたい色のつぼがある。ひだは黄色。梅雨~秋、シヤコナラの林、高い山ではブナやモミの林に発生。大変派手なキノコ、これが非常に美味しい食用キノコで口あたり良く、歯切れ良く、よいだがじっくり出る。下のつぼは味も口あたりも悪いので除いて料理するとよい。虫もつきやすく傷みも早いため、採取後すぐに料理にかかる。和、洋、中、どんな料理にも使える。



タマゴタケ (食) 赤きわめこほい
テングタケ科

ドクツルタケ

テングタケ科の猛毒種、全体が白色。根元に卵状、袋状のつぼを持つ。

近い種のシロタマゴテングタケ等と共に、白い殺しの天使ともいわれる。臓器を壊してしまう毒のため、中毒に気付いた時は手遅れになる。病院で完全な洗浄で一命を取り留めても、回復に時間を要する。梅雨~秋、発生多い。



ドクツルタケ 白い
たがタケ科 (猛毒) ⑧..

ヤマドリタケモドキ

イグチ科の美味な食用キノコ。傘は6～20cm、暗褐色～オリーブ色。管孔は白くふさがった状態から成長すると黄色になる。虫も良く食うが、傷ついても変色しない。ブナ科を主とした広葉樹林、マツとの混生林、高山の針広混交林まで。この周辺ではコナラと相性がよい。低いこの地域では毒イグチと重なりにくい。ニガイグチは苦くてまずいので、同定はしっかり。どんな料理にも使えるスグレモノ。



ヤマドリタケモドキ (食)
イグチ科

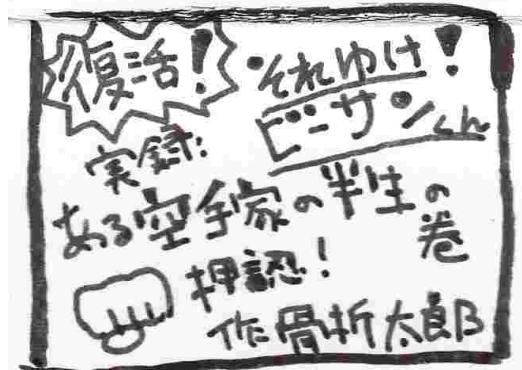
カワリハツ

ベニタケ科の食用キノコ。傘は6～10cmまんじゅう形～じょうご形。紫・淡紅・青・緑・オリーブ色など種々な色、となり同士でも同じ種で色が違うこともしばしばあり、名の由来にもなる。

夏～秋、雑木林内。肉質はもろい、炒め物、汁物、ピザの具など、旨味のあるだしを生かすとよい。



カワリハツ
ベニタケ科 (食)



この夏は、子どもといっしょに 井戸掘り



6月・7月・8月 主なイベント日程のお知らせ

参加費無料

参加者多数の場合は、村民証のある方を優先させていただきます。

6月13日(日) 10:00 ~ 11:30 少雨決行
井戸のヒゴ車完成お祝い式 (まわれまわれの会)

歩いてヒゴ車を回す体験ができます。
今までの取り組みや今後の計画もお知らせします。



7月11日(日) 10:00 ~ 11:30 少雨決行
掘り初め式 (ここ掘れ、とんとんの会)

上総掘りの掘り方を体験しましょう。
大道村グッズを集めよう(協賛グッズ販売も予定しています。)

この間もほぼ毎日休まず井戸掘りは続きます。井戸掘り作業チーム「チーム三艘」とともに、作業を手伝ってくださるボランティアを募集しています。日に2~3名ずつ登録していただけるとありがたいです。

連絡先: 045(701)6870 大道 1-47-12(相川)

FAX 045(786)0039

暑い夏・・・

作業後の冷たい飲み物やソーメンなどをサービスしたいので、「協賛」を募集しています。大道村グッズの販売も行う予定です。ぜひご協力ください。(村グッズ販売促進)

7月24日(土) ~ 25日(日) 10:00 ~ 15:00

8月21日(土) ~ 22日(日) 10:00 ~ 15:00

夏休みだ!井戸掘りだ!(井戸掘り体験会)

細く長く掘って、みんな笑顔に・・・間伐材を使ったアスレチック
遊び・いかだづくり・竹馬・竹とんぼづくりなどもやってるよ!
お昼にはみんなで流しそうめんを楽しもう! 侍従会と同時開催
ボーイスカウト横浜第24団 他

月 日() 60メートルが目安かな
通水のお祝いをしよう!

あつかれさまきた



大道村
よい水・よい人
よいまちづくり

おさそい

ふるさと大道村

って何ですか？

大道小学校の子どもたちは、トンボ池の枯渇を何とかしたいと願い、地域に残る「上総掘りの井戸を掘る技術」を使って田んぼの横に井戸を掘り、水環境を整えることを考えました。井戸の他に「水車」や「あずまや」などの池の周辺整備も進めます。この一連のプロジェクトを「ふるさと大道村」と呼びます。子どもの環境学習だけでなく、大道村(池や田んぼの周辺)がコミュニティーをはじめ、地域の方に開かれた「いやしの空間」となるようにとの願いを込めて、子どもと地域・保護者が一体となって進めていきます。

さあ、みなさんもいっしょに活動に参加しませんか。



4月「村づくりがんばるぞいの会」発足式 4/18

4月「むらマークを考えてつくりよう」(6月に発表します)

今後、こんな活動していく予定です

6月「ひご車」完成祝い・「掘り始め式」

7月「みんなで井戸掘り」

8月「みんなで井戸掘り」

「通水のお祝い(流しそうめん)」

9月「井戸の吐水口コンテスト」

10月「池周りの環境整備を進めよう」

11月 「ソーラーポンプ」

12月 「あずまや」「橋」「ベンチ」

1月 「水路」「芝生」 など

2月「大道村完成のお祝い会」

定 例 井戸端会議(実行委員会)毎週随時(土曜日)

〃 むら会議(運営会議)毎月第2金曜日

村民の申し込みは、ホームページまたは、村役場・大道小学校・金沢区役所
区政推進課企画調整係(4階3番窓口)で受け付けています。

ホームページ <http://daidomura.web.fc2.com/>

佐野真吾が語る侍従会の思い出 ~ 私が虫屋になった日 ~

みなさんは「虫屋」という言葉を聞いたことがありますか？何か一つの分野に没頭している人のことを「～屋」という表現で言ったりしますが、その言い方は、生物の世界では特に使われ、鳥類が好きな人なら「鳥(トリ)屋」、日本の淡水魚が好きなら人なら「日淡(ニッタン)屋」というような言い方をします。つまり、昆虫が好きなら「虫(ムシ)屋」というわけです。「虫とり」が生きがいの私は、きっと「虫屋」に分類されるのでしょう。そんな私にも虫屋になるきっかけがありました。それは、2000年8月におこなわれた侍従会の「夏休み野外教室」でした。

野外教室とは、侍従会が侍従川の生き物を展示したり、植物で草遊びをしたり、竹で工作をしたり、子どもたちの夏休みの自由研究に役立つような教室を開くというイベントです。そして、その日は、特別ゲストとして「標本教室」担当のT先生という方が来てくださいました。学生部隊長の山田さんが、T先生のもとに私を連れて行き、「T先生今日はよろしくお願いします。彼は佐野くんといって虫が好きなので色々教えてあげてください。この標本も彼が作ったんです。」と、私が展示した標本を見せながら紹介してくれました。山田さんはいつもこうして私を色々な人に合わせてくれるのでした。

それから、数時間、私はずっとT先生に付きっきりでした。T先生は現地で見つけた虫を採ってきて「この虫は何て名前か知ってる？」と私に聞きました。「アオバハゴロモです！」。得意げに答える私にT先生は、「じゃあアオバハゴロモは何の仲間だと思う？」と問いかけました。分からなかった私は、「うーん...カゲロウとかの仲間ですか？...」と答えると、「違うんだよ！これはセミに近い仲間なんだよ！ほら？顔をよく見ると口はセミと同じで針みたいになってるでしょ？カゲロウの口はどうなってる？」「あっ！カゲロウはガブガブ噛む口になってる！！」「正解」。T先生の話は他にも標本の作り方のコツ、蝶やオサムシを採る話、虫を採るために外国に行くT先生の知り合いの話など、私にとってすべてが刺激的でした。また、私の好きなタガメやゲンゴロウの話や自慢の虫の話も真剣になって聞いてくださいました。そして、虫の話が尽きないまま時間は過ぎ、いつの間にか野外教室は終わりの時間を向えていました。

草花教室と竹笛教室を担当していた山田さんが帰ってきて言いました。「サノシン今日はよかったね！色々勉強になった？」「はい！色々教えてもらいました。私はキラキラしながら答えた覚えがあります。するとT先生が「山田さん！虫屋の彼は将来が楽しみだね！」と言いました。この時、私の頭



の中に響いたのが、「虫屋」という言葉でした。期待され、「虫屋」という、虫に詳しい人ならアマチュアでも名乗れる称号のようなものをもらった気分で、認められた感じが嬉しかったのです。

虫屋の広い世界を知るようになるのは、それからずいぶん先の話になるのですが、とりあえず、こうして「虫屋、佐野真吾」が誕生したわけです。子どもの頃は特に「虫屋」という言葉を意識しましたし、誇りを感じていました。

『佐野真吾が語る侍従会の思い出』つづく



虫のきょういく座談会 ~マルコとパンツ~

参加者:竹内、山田(陽)、成島、佐野

これは数年前のGWに東北地方まで“ゲンゴロウ探し”に行った時の話である。大のゲンゴロウ好きである佐野の目的は、珍種「マルコガタノゲンゴロウ」であった。通称“マルコ”と呼ばれるこのゲンゴロウを採ることに佐野は尋常でない情熱を燃やしていたのだ。しかし、1日目終了した時点でマルコどころか、他の生き物もほとんど採れず、佐野のイラ立ちはピークに達していた。そんな時に事件は起きたのである。

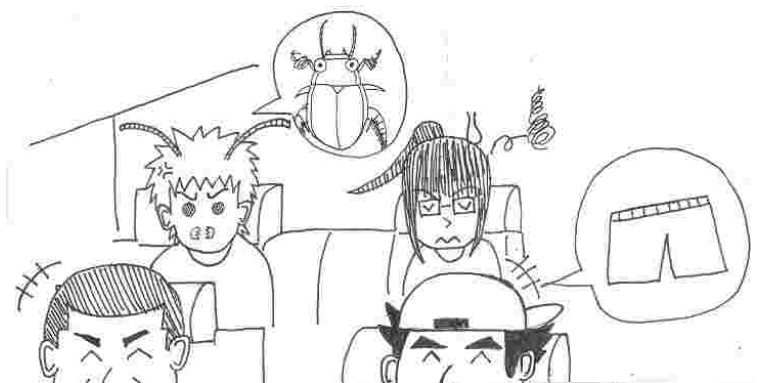
佐野:「やばっ...着替え入れたバック、家に忘れてきた...」

銭湯の駐車場にて佐野は悲惨な事態に直面したのである。

成島:「ええー！何やってんの！バックじゃないのぉー！！」

竹内:「ワハハハ(笑)サノシン(佐野)は網とか採集道具に意識が行きすぎて、他のことはどうでもよかったんだな(笑)さすがだよ(笑)」

こうして佐野は不甲斐なくもコンビニでパンツを購入する破目となったが、なんとか風呂に入ることはできた。しかし、入浴後の山田氏の一言から話は座談会へと発展していく。



山田:「サノシン？もし今日パンツ変えな

い代わりにマルコ採らせてあげるって言われたらどうする？(笑)」

佐野:「マルコを選びます！！」

山田:「じゃあ1カ月パンツ変えない代わりにマルコが採れたら？(笑)」

佐野:「マルコです！」

竹内氏、成島氏から感嘆の声が上がった。

山田:「じゃあ1年パンツ変えないのとマルコだったら!？」

佐野:「今の気持ちなら絶対マルコです!!(笑)」

竹内:「おっ!即答!さすがだな!(笑)」

かなりふざけた会話であったが、佐野は少々ムキになってしまった。それほど今回の旅はマルコに情熱を懸けていた。パンツにも勝る情熱を...

山田:「サノシンさすがだのぉ~(笑)ホンモノだ!(笑)俺はパンツ1日変えないのは耐えられないな~。いやでも1日だったら我慢できるかな。でも1カ月変えられないならマルコ採れなくていいや。」

竹内:「でもそれで着替え忘れるってサノシンらしいな(笑)サノシンにとっちゃゲンゴロウが一番だからな!(笑)」

山田:「なるほど!じゃあ“1ヶ月そのままパンツ”とナミゲン(普通のゲンゴロウ)だったら?」

佐野:「ナミゲンです!」

山田:「じゃあエゾゲンゴロウモドキ(北方系の珍しいゲンゴロウ)とだったら?」

佐野:「エゾゲンゴロウモドキ!」

山田:「じゃあクロゲンゴロウ?」

佐野「...。それなら...パンツ...かな...。」

一同:「おっー!!」

山田:「サノシンはクロゲンゴロウだったらパンツを選ぶのか!
そうか。サノシンのことがよく分かった気がしたよ!
(笑)」



マルコのこと
マルコガタノゲンゴロウ

こうして、未だかつてないほどのくだらない座談会はあっけなく終了した。終始会話に参加しなかった成島氏があきれかえっていたことは言うまでもない。そして、この一件以来、佐野は旅の前は念入りに着替えをチェックすることを心がけているようだ。



それゆけ

激突！山田くん ~VS 野生生物編~



「オオトビサシガメの巻」

さて、散々にイタイ思いをしたヤマダは、ようやく愛川ふれあいの村に到着し、S小学校5年生のみんなと合流できたのだった。

子どもたちは、遅れて合流したヤマダを何の違和感もなく受け入れ、一緒に野外炊事などの活動をした...まさか、マムシに咬まれて、やっと退院して到着したとは誰も思わなかったようだ。

二日目...ふれあいの村の裏にある高取山に登るプログラムだ。

病み上がり...というか、ただ5日間寝てただけ...の身での山登りはつらかった(>_<)ヒーヒー言いながらやっと山頂に到着したら、虫が目に入った。でかいカメムシ...サシガメだった。色は茶褐色と地味ではあるが、大きいボディは存在感があった。

とりあえず、捕まえてみる。においを嗅ぐと(何でわざわざにおいを嗅いだのか？よくわからない)なんと、バナナのにおいがした。

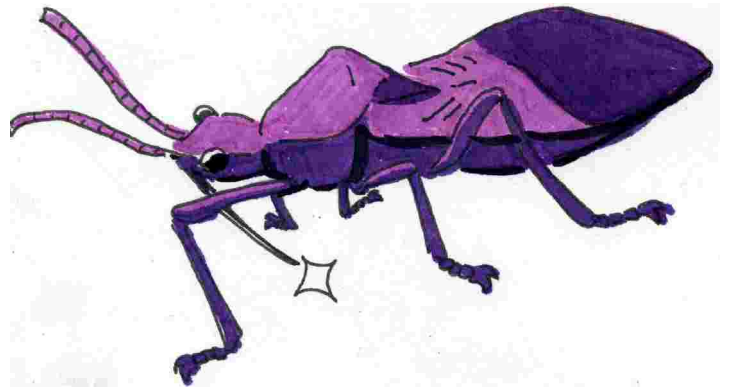
で、子どもたちに「ねえねえ、これバナナのにお...いてっ！！！」

突然、左手人差し指に痛みが走った。

犯人はこの大きなサシガメだ。

聞くと、これは「オオトビサシガメ」と言い、なんでも日本で一番痛いカメムシだとか。

オオトビサシガメの口を見ると、カメムシ特有の針状の口をしており、いやはやなんともやる気のある口吻をしていた。



咬まれた(刺された)のは、奇しくもマムシに咬まれた左手人差し指だ...何の因果か？

しかし、オオトビサシガメの方がマムシよりも格段に痛い(>_<)しかも、ズキンズキンしてきた。(これ、絶対なんか毒持ってるよ！)と、思うほど痛かった。

う~ん...しかし、ボクの体内にはいろんな物質(毒?)が入っているのか？ちょっと心配になってきたヤマダであった。

明日はどんな生き物に咬まれるのであろう...

つづく

侍従川定例調査報告 学生部

4月25日(日) 晴れ

中潮 満潮02:31 (157cm) 14:54(156cm) 干潮08:48(60cm) 20:52(55cm)

参加者:上村(ゆ)、徳竹、池田、青井、遠藤、角井(た)、角井(け)、柴田(り)、米塚、金野、金子、中島、瀧本、長谷川、山田(陽)、島村

【大道東橋～ちとせ園】(中流域) 14:00

気温:18.6 水温:18.1 水の色:透明 底質:礫、砂

生物:カルガモ、ハクセキレイ、コイ、ボラ、ギンブナ、メダカ、チチブ(卵塊も発見)、ウキゴリ(稚魚も)、テナガエビ、ミソレヌマエビ、モクスガニ、ハグロトンボ(ヤゴ)、コオニヤンマ(ヤゴ)、コマトンボ(ヤゴ)、コシボソヤンマ(ヤゴ)、アメンボ、ミミズsp

ゴミ:なし

備考:午前中に、侍従川拡大クリーンアップが行われた。

新入生と小学生の参加により、調査形式を変え、調査方法を覚えてもらった。



5月9日(日) 晴れ

若潮 満潮 01:47(145cm)14:09(133cm) 干潮 08:13(74cm)20:04(79cm)

参加者:柴田(は)、柴田(ぎ)、柴田(り)、白石(ま)、白石(た)、角井(た)、角井(け)、上村、徳竹、赤間、大木(な)、金野、金子、鈴木(ま)、中島、沼崎、野村、瀧本、大木(ひ)、山田(陽)、島村

【諏訪之橋】(下流域) 10:20

気温:24.1 水温:19.2 塩分濃度:8‰ 水の色:透明

底質:砂、泥、礫、ヘドロ

生物:コウロエンカワヒバリカイ1、マガキ、ホソウミニナ2、テナガエビ1、ボラ(15cm)50目視(4cm)3捕獲、ウキゴリ(稚魚)約50、チチブ9

ゴミ:空き缶、傘、ビニール袋

【長島橋～大道東橋】(中流域)13:30

気温:20.5 水温:19.7 水の色:透明 底質:砂、礫

生物:ハグロトンボ(幼虫)14、マルタン
ヤンマ(幼虫)2、コシボソヤンマ(幼虫)
2、ミゾレヌマエビ多数、メダカ8、
ボラ(15cm)多数目視(60cm)1目視、
フナ sp4、コイ多数目視、ピリンゴ1、
チチブ19

ゴミ:空き缶、タバコ、フライパン

備考:コイが産卵のため上流に向かっていた。
カキツバタ開花。



【大道橋】(中流域)15:00

気温:18.8 水温:23.7 水の色:透明

底質:砂、礫

生物:サワガニ1、ウナギ1目視、アユ(15cm)1目視、
チチブ2

ゴミ:空き缶、ペットボトル、ビニール袋、弁当のゴミ、
新聞、発泡スチロール、タバコ、アルミはく

備考:大道橋は商店も近く人通りが多いためゴミが多い。
ノハカタカラクサ開花。



【大道中学校 大道溪谷】(源流域)16:00

気温:20.5 水温:17.3 水の色:透明(一部ヘドロで黒い、鉄分がバクテリア
によってオレンジ色になっていた) 底質:砂、泥、ヘドロ

生物:ホトケドジョウ1目視、オニヤンマ(幼虫)1、
オオシオカラトンボ(幼虫)17

ゴミ:ペットボトル、ビニール袋、植木支柱

備考:ホトケドジョウが全く穫れなかった。

(4/29 日本大学学生が調査した時は全域で35)

事務局だより

事務局運営委員 長橋 輝

6月～7月の活動予定

6 / 12(土) 会員の集い 17時～18時 大道コミュニティハウス2F多目的室

6 / 12(土)、13(日) ホタル観察会 19時～20時30分 大道中学校

6 / 27(日) 定例クリーンアップ 9時～12時頃 ちとせ園集合

定例クリーンアップは、雨天の場合、翌週日曜日に行います。

7 / 24(土)、25(日) イカダ作り 両日とも9時～12時 大道小学校にて

(イカダ下り大会は8 / 1(日))

7 / 25(日) 定例クリーンアップ 9時～12時頃 ちとせ園集合

7 / 26(月) 侍従川大調査～横浜市ハグロトンポー一斉調査 9時～15時

学生部による侍従川定例調査も兼ねます。

学生部の活動予定

6 / 26(土) 定例調査 10時 大道小学校集合

ホタル調査 5 / 27～7 / 4の水曜日、土曜日

19時～20時30分 大道中学校

必ず保護者の了解を得てから参加してください。

終了後は速やかに帰宅すること。

8 / 17(火)～19(木) 夏期合宿 愛川ふれあいの村

活動の詳細(持ち物など)は、別途配布の活動予定又はホームページをご覧ください。

<http://jijyukai.web.fc2.c>

前回に引き続き新年度会費納入のお願いです。

・2010年度(平成22年度)会費・・・2010年4月～2011年3月

大人会員 3,000円 学生部・ジュニア会員 1,500円

・支払方法: 払込取扱票にて郵便局でお支払いください。

口座記号番号 00230-5-68634 加入者名:ふるさと侍従川に親しむ会

現金での支払いは間違いのもとになりやすいので郵便局での支払いをお願いします。

ふるさと侍従川に親しむ会 事務局 長橋 輝明

Tel & Fax 045-781-4042 E-Mail jr-nagahashi@seaple.icc.ne.jp

編集後記 皆様のご要望にお答えして、今号から侍従川生き物図鑑を再開しました。また、活動報告では、中学2年生の米塚友里ちゃんと、小学4年生の長崎光則くんが、原稿を書いてくれました。長崎くんは最年少記録を大きく更新です。(MK)